

令和6年度しもつけふくしフェスタ実績報告

日時：令和6年10月5日（土） 9：00～15：00

場所：下野市保健福祉センターゆうゆう館

自立支援協議会からの協力： こども部会2名（山家委員・小林委員）

（9：30～12：00） 就労部会1名（福田委員）

内容：①電気自動車からの充電体験

②市内障がい福祉施設の紹介掲示

③ワークショップ：きらきらドームを作ろう！ 参加者：122名



給電の様子



提示物



キラキラドーム作りの様子

当日は小雨が降るあいにくのお天気でしたが、キラキラドーム作りに幼児からお年寄りの方までたくさんの方が、ご参加いただきました。個性あふれるきれいなドームがたくさんできました。

わくわくステージ「精神障がい当事者座談会」

ふくしフェスタのステージ発表（わくわくステージ）では精神障がいについて広く市民の皆様に知っていただくために、市地域活動支援センターゆうがおに所属している精神障がい者ピアサポーター※（ピア部）のご協力を得て、座談会を実施しました。

※「ピア（peer）」とは英語で「仲間」や「同等の人」を意味します。精神障がいの分野では、自らも病気や障がいを抱えながら、同じような立場の人のために活動をしている人を「ピアサポーター」と言います。



座談会内容

ピア部の方々は、現在も通院・服薬を続けながら、施設への通所や趣味を楽しみながら生活されています。しかしそれぞれ統合失調症を抱えており、過去には症状がひどくなり、入院した経験もありました。座談会では、幻聴が聞こえた時の感覚や、入院から回復までの道のりについて、ユーモアを交えながらお話をしていただきました。そして聴衆の皆様へ、「精神疾患は誰でもなる病気」「先生と相談しながら自分に合う薬を見つけることで、普通に生活できる」「差別や偏見をもたずに接してほしい」と発信していました。

当日はたくさんの方が熱心にお話を聞いてくださっていました。